

第45回全国障害者技能競技大会 <109>ワード・プロセッサ 当日課題

和文競技 「AI スマートバトル大会」の作成（制限時間 80 分）

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 英数字はすべて半角で入力する。
 - 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
 - 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
 - 図形やテキストボックスの行間については、作成例を参考に、適宜調整をする。
 - 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

- ## 1. 新規文書を作成し、ファイルを保存する。

- 保存場所はデスクトップの「ワード・プロセッサ」フォルダとする。

- ファイル名は「選手番号 AIスマートバトル大会」とする。

※選手番号とファイル名の間には全角1文字分のスペースを入れる。

- ## 2. 用紙の設定をする。

- 印刷面の余白は上 30mm 下左右 20mm 程度にする。

- ページ設定で、行数は「40行」を指定する。

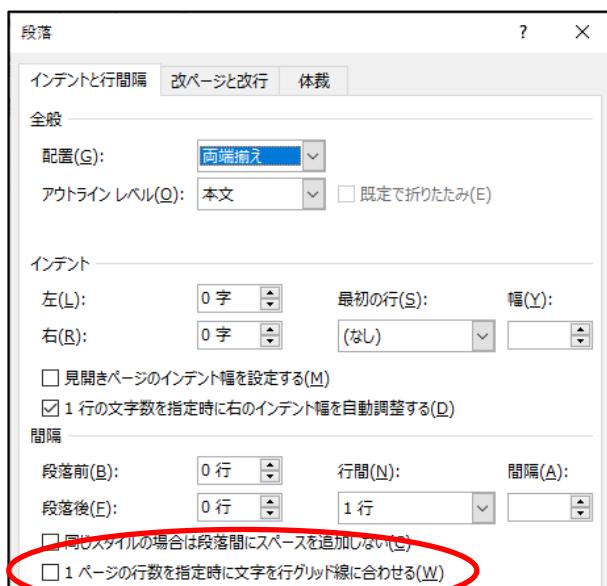
- ヘッダーの右側（上から 10mm の位置）に「選手番号 競技者氏名」を入力する。

※選手番号と競技者氏名の間には、全角1文字分のスペースを入れる。

- フッターの中央（下から 10mm の位置）に「ページ番号」を設定する。

※作成例を参考に、図形2つ（星：4pt）を挿入して、色は濃い青、枠線なしを設定する。

- 段落の設定で、「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」をオフにする。



◆1 ページ目の設定

3. タイトル「AI スマートバトル大会」をワードアートで作成する。

【AI 部分】

- フォント：ゴシック体系、60pt、白
- 文字の輪郭：濃い青、文字の効果：光彩 8pt 緑

【スマートバトル大会部分】

- フォント：ゴシック体系、36pt、濃い青
- 文字の効果：反射（弱）オフセットなし

4. タイトルの左上に「ワード・プロセッサ￥和文素材」フォルダの中から「AI.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

- 文字の折り返し：背面 ■図のスタイル：橜円、ぼかし

5. 「AI 技術と人間の戦略が融合する新時代のバトル！」を入力し、以下の設定を行う。

- フォント：メイリオ、14 ポイント、太字、緑系、文字の均等割り付け（28 字）、中央揃え
- ※「AI 技術」部分、「人間の戦略」部分：傍点

6. 「みんなで楽しむ」～「挑んでみませんか？」までを入力し、以下の設定を行う。

- フォント：明朝体系、10.5pt
- 段落：字下げインデント 1 字、行間 1 行

7. 「ワード・プロセッサ￥和文素材」フォルダの中から「大会イメージ.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

- 文字の折り返し：狭く ■図のスタイル：透視投影（右）、反射付き

8. 「開催日時：」～「参加費：」部分を入力し、以下の設定を行う。

- フォント：ゴシック体系、10.5pt
- 段落：箇条書き、行間 1.5 行、左揃えタブ 11 字（リーダーなし）、左インデント 2 字
- ※「事前登録が必要」部分：割注

9. 「AI スマートバトル大会とは」を入力し、以下の設定を行う。

- フォント：メイリオ、12pt、濃い青系、太字
- ※「✈」部分については、任意の記号を 3 つ挿入すること。
- 段落：右揃え、右インデント 3 字、段落野線（下）破線、3pt、緑系

10. 「ワード・プロセッサ￥和文素材」フォルダの中から「ハテナ.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

- 文字の折り返し：背面

11. 本文「AI スマートバトル大会の目的は、～」・「大会では、～」・「以下の手順で～」部分を入力し、以下の設定を行う。
 - フォント：明朝体系、10.5pt
 - 段落：字下げインデント1字、行間 固定値12pt
12. 「11.」部分に、2段組み（境界線を引く）を設定し、「以下の手順で～」から2段目になるよう段区切りを挿入する。
13. 見出し「大会の目的」・「ゲームの内容」・「参加方法」部分は、図形を使用して作成する。配置、フォント、色、段落は、作成例を参考に、以下の設定を行う。
 - 矢印：五方向
 - フォント：ゴシック体系、10.5pt、白、太字
 - 段落：中央揃え
 - 図形の塗りつぶし：テクスチャ（紫のメッシュ）、図形の枠線：なし
 - 十字形
 - 図形の塗りつぶし：黄色系、図形の枠線：黄色系、図形の効果：面取り 丸
14. 表を作成し、「1」～「・本人確認書類」までのデータを入力する。
作成例を参考に、以下の設定を行う。 ※行間等は適宜調整すること
 - 1列目 フォント：ゴシック体系、黒、12pt
 - 配置：中央揃え
 - 2列目 （タイトル部分） フォント：ゴシック体系、白、10.5pt、太字
 - セルの塗りつぶし：濃い灰色系
 - （詳細部分） 明朝体系、10.5pt

◆2ページ目の設定

15. 「ゲームの詳細」は、「9.」・「10.」と同様の設定を行う。
※挿入するファイルは「インフォメーション.jpg」とする
16. 「AI バトルロイヤル：戦略家の覚醒」を入力し、以下の設定を行う。
 - フォント：ゴシック体系、24pt ■段落：中央揃え
 - ルビ：AI（エーアイ）、戦略家（せんりやくか）、覚醒（かくせい）
17. 図形（四角形：メモ）を挿入し、作成例を参考に、以下の設定を行う。
 - 図形の塗りつぶし：テクスチャ 化石 ■図形の枠線：なし

18. 「キャラクター紹介」部分を、図形（正方形/長方形）で作成し、配置、フォント、色、段落は、作成例を参考に、以下の設定を行う。

- フォント：丸ゴシック体系、12pt、白、太字
- 段落：中央揃え
- 図形の塗りつぶし：濃い青系 透過性：40% ■図形の枠線：なし

19. 「プレイヤー（参加者）～」・「メガブレイン～」部分を、テキストボックスで作成し、配置、フォント、色、段落は、作成例を参考に、以下の設定を行う。

- フォント：（見出し部分）ゴシック体系、10pt、太字 （紹介部分）明朝体系、9pt
- 段落：（見出し部分）箇条書き （紹介部分）行間 固定値 10pt、左インデント 2字
- 図形の塗りつぶし：白 ■図形の枠線：なし

20. 「Player Allies」・「AI Rivals」部分を、図形（矢印：右、矢印：左）で作成し、配置、フォント、色、段落は、作成例を参考に、以下の設定を行う。

- フォント：Calibri、9pt、白、太字
- 段落：行間 固定値 9pt
 - （Player Allies）部分 ■図形の塗りつぶし：青系 ■図形の枠線：なし ■右揃え
 - （AI Rivals）部分 ■図形の塗りつぶし：赤系 ■図形の枠線：なし ■左揃え

21. 「ワード・プロセッサ￥和文素材」フォルダの中から「勇者.png」・「博士.png」・「ロボット 1.png」・「ロボット 2.png」・「ロボット 3.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

22. 「基本ルール」部分は、「13.」と同様の設定を行う。

23. 「プレイヤーは」～「増していきます。」までを入力し、以下の設定を行う。

- フォント：明朝体系、10.5pt

24. 「ゲームの流れ」部分は、「13.」と同様の設定を行う。

25. 作成例を参考に、「ROUND1」～「FINAL ROUND」にSmartArtを挿入する。

- SmartArt グラフィックの種類：強調ステップ オレンジ系
- フォント：Meiryo UI ※サイズ等は適宜調整すること

◆3ページ目の設定

26. 「タイムテーブル&会場マップ」は、「9.」・「10.」と同様の設定を行う。
※挿入するファイルは「吹き出し.jpg」とする

27. 「タイムテーブル」・「会場マップ」部分は、「13.」と同様の設定を行う。

28. 作成例を参考に、以下の設定を行う。 ※行間等は適宜調整すること

●外側の表

■罫線の種類：外枠 3pt 実線（濃い青系）

内側 1pt 実線（濃い青系） ※4、5行目のみ破線

■1行目：セルの色 薄い青系、フォント ゴシック体系、10.5pt、黒、太字、中央揃え

■2行目以降：フォント 明朝体系、10.5pt、黒 ※1、2列目は中央揃え

■その他：下図の指示に従う

時間	内容	詳細
11:00-	参加受付	※12:30までに受付を済ませてください
13:00-	開会式	スピーチ・大会ルール説明
13:30-	ROUND1 協力ミッション	メガブレインとの連携が鍵！ 戦略 AIの分析をもとに、ルート解析・迷路突破 クリア条件 最短ルートで突破 ポイント評価 戰略の正確性 ミッション中に、AIは新たなデータを取得することもあります
14:30-	ROUND2 直接対決！	対戦 AIの特性を見極めよ！ 戦略 パワー型、俊敏型—それぞれ異なる戦略が必要 クリア条件 AIの動きを読んで対応 ポイント評価 防御と攻撃のバランス 対戦が進むにつれ、AIはプレイヤーの戦略を分析し適応します
15:30-	FINAL ROUND	かつての味方が、最強の敵へ 手は何度も通用せず、柔軟な戦略が必要 戦術適応を突破 戦略とクリエイティブ戦略 データを利用して行動を予測してきます

フォント：Meiryo UI
セルの分割：列数1 行数2
1行目：フォント 10.5pt、太字、斜体、青系
2行目：フォント 12pt、太字、白 セルの色 青系
※「ROUND2」「FINAL ROUND」部分も同様の設定を行うこと

●内側の表（3か所）

■罫線の種類：枠なし ※横罫線（内側）のみ 0.5pt 実線（青系）

■1列目：セルの色 薄い青系、フォント 明朝体系、9pt、黒、太字

■2列目：フォント 明朝体系、9pt、黒

横罫線（内側） 0.5pt 実線（青系）

戦略	AIの分析をもとに、ルート解析・迷路突破
クリア条件	最短ルートで突破
ポイント評価	戦略の正確性

29. 会場マップを図形で挿入する。作成例を参考に、以下の設定を行う。

■フォント：Meiryo UI ※サイズ等は適宜調整すること

■画像：「ワード・プロセッサ用文素材」フォルダの中から以下の画像を使用

トイレ.jpg、自販機.jpg

◆文書全体の調整

30. 指示に提示されていない事柄については、作成例と同様になるように編集する。

編集後は、上書き保存する。

第45回全国障害者技能競技大会 <109>ワード・プロセッサ 当日課題

英文競技 「JapaneseCastles」 Word ファイル、PDF ファイルの作成（制限時間 60 分）

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

1. 新規文書を作成し、「ワード・プロセッサ」フォルダに「選手番号 JapaneseCastles」という名前で保存する。
※選手番号とファイル名の間には半角1文字分のスペースを入れること。
2. 用紙サイズ：A4、マージン 25.4mm（1インチ）、とじしろ0に設定する。
3. フッターに、作成例の通り、競技者名（ローマ字）、ページ番号、本日の日付を入力し、下からのフッター位置 15mm に設定する。
■フォント：Segoe UI、サイズ：8
4. ページ罫線を引く。任意の絵柄、線の色：紫系
5. 「ワード・プロセッサ￥英文素材」フォルダ内の「Castle_ico.jpg」を利用して透かしを設定する。

◆1ページ目の設定

6. ワードアート「All about Japanese Castles」を挿入する。
■フォント：Cooper Black、サイズ：28、太字、色：紫系
■文字の輪郭の色：白、影の色：紫系、変形：凹レンズ：下
7. 「ワード・プロセッサ￥英文素材」フォルダ内の「CastleTown.png」を挿入する。
※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。
8. 図形と文字を挿入し、作成例の通り、設定する。
■矢印：五方向 図形の色：黄色ー薄い黄色ー薄い紫ー紫のグラデーション、枠線の色：なし
■フォント：Gill Sans MT、サイズ：14、色：黒
9. 本文「During the Asuka」～「their exceptional value.」部分を入力し、以下の通り設定する。
■フォント：Calibri、サイズ：10
■段落：両端揃え、行間：1行
※他の箇所についてもフォントの指示がない限り、上記の設定を適用すること。

10. 文頭にドロップキャップを設定する。

■ ドロップする行数 : 4

■ フォント : 文字の色 白、文字の輪郭の色 オレンジ系、光彩の色 オレンジ系

11. 「ワード・プロセッサ￥英文素材」フォルダ内の「CastleTower.jpg」を挿入する。

■ 文字列の折り返し : 四角形、枠のスタイル : 対角を丸めた四角形、白

12. 「ワード・プロセッサ￥英文素材」フォルダ内の「Japan.jpg」を挿入する。

※作成例の通り、図のスタイルやサイズを調整して配置すること。

13. 12.で挿入した日本地図部分に図形とテキストボックスを挿入し、作成例の通り、設定する。

■ スクロール : 横 図形の色 : 灰色系、枠線の色 : 白、枠線の太さ : 0.75pt

 フォント : Cooper Black、サイズ : 9、色 : (Japan's 部分) 白、その他 黄色

■ 円 (3 か所) 図形の色 : 白、枠線の色 : なし

■ 正方形 (5 か所) 図形の色 : オレンジ系、枠線の色 : 白、枠線の太さ : 0.5pt

■ 線 (5 か所) 線の色 : オレンジ系、枠線の太さ : 1.5pt

■ フリーフォーム : 図形 (5 か所) 枠線の色 : 紫系

■ テキストボックス (5 か所) Gill Sans MT、サイズ : 10、太字、文字の色 : 紫系

 図形の色 : なし、枠線の色 : なし

14. 四角形 : 角を丸くする (2 か所) を挿入し、作成例の通り、設定する。

■ 図形の色 : 白、枠線の色 : 白、光彩 (灰色系、サイズ : 11pt)

■ フォント : Arial、サイズ : 9

 (タイトル部分のみ) 太字、下線

■ 行間 : すべての行が表示されるようにそれぞれ調整する

■ 箇条書き (城名部分のみ)

15. テキストボックス (「5」と「7」部分の 2 か所) を挿入し、作成例の通り、設定する。

■ フォント : Arial、サイズ : 72、太字、文字の色 : 黒、輪郭の色 : 白、影の色 : 紫系

■ 図形の色 : なし、枠線の色 : なし

◆2ページ目の設定

16. 見出し部分「Discovering the Charm of Japanese Castles」を入力し、以下の通り設定する。

■ フォント : Arial、サイズ : 14、色 : 黒

■ 中央揃え、罫線 : 上 3pt、種類 任意、色 灰色系、網かけ : 15%、段落後の間隔 : 1 行

17. 見出し部分に図形とテキストボックスを挿入し、作成例の通り、設定する。

- リボン：上に曲がる 色：青系、枠線の色：なし、回転：任意、
フォント：Elephant、サイズ：14、色：白
- 円 色：黄色系、ぼかし：2.5pt（ソフトエッジ）、枠線の色：なし
- テキストボックス（数字部分） フォント：Cooper Black、サイズ：18、文字の色：青系
図形の色：なし、枠線の色：なし
- 星：6pt 色：黄色系、枠線の色：なし、面取り：任意

18. 「ワード・プロセッサ用英文素材」フォルダ内の「Trivia.txt」を読み込む。

19. 表を挿入し、作成例の通り、設定する。18.で読み込んだテキストを利用して表を挿入してもよい。

- フォント：Calibri サイズ：10.5
- 罫線（格子）：0.5pt、黒
- 画像：「ワード・プロセッサ用英文素材」フォルダ内の「CastleTower.jpg」、「StoneWalls.jpg」、「CastleGates.jpg」、「Moats.jpg」を挿入

20. 右図のデータシートを参考に、円グラフ（ドーナツ）を作成する。

- タイトル
フォント：Gill Sans MT、サイズ：10、太字
- データラベル（任意の位置に配置）
フォント：Arial、サイズ：8
※引き出し線等の有無は問わない
- グラフの外枠
色：灰色系、線の太さ：0.75pt

	A	B
1	Castle Name	Votes
2	Himeji Castle	102
3	Matsumoto Castle	74
4	Kumamoto Castle	48
5	Nijo Castle	35
6	Nagoya Castle	30
7	Others	72

21. 吹き出し：角を丸めた四角形を挿入し、作成例の通り、設定する。

- 色：青系
- フォント：Arial、サイズ：8、太字、色：白
- 20.で作成したグラフと作成した 角を丸めた四角形の吹き出しをグループ化

22. 「Fascinating Castle Facts」部分は、以下の通り設定する。

- フォント：Gill Sans MT、サイズ：12、太字、色：白、文字の背景：紫系

23. 「Castles Built」～「"castle in the sky"-like scenery.」部分に境界線を引いた2段組みを設定する。

24. 見出し部分「Castles Built Without Nails」、「Hidden Ninja Traps」、「UNESCO World Heritage Castles」、「The Highest Castle in Japan」は、以下の通り設定する。

- フォント：Arial、サイズ：10.5、太字、色：黒
- 箇条書き、行頭文字：◆、色：紫系

◆3 ページ目の設定

25. 「Types of Castle Towers」は、「16.」「17.」と同様の設定を行う。

26. 表を挿入し、以下を参考に作成例の通り、設定する。セル内の配置は上下中央の指定をすること。

18. で読み込んだテキストを利用して表を挿入してもよい。

The diagram illustrates a table structure for 'Types of Castle Towers' with various style annotations:

<p>塗りつぶし：灰色系 フォント： Gill Sans MT、白 10.5pt、太字 配置： 中央揃え</p>	<p>Reconstructed castle towers Ozu Castle, Nagoya Castle, among others</p>	<p>Reconstructed castle towers are castle towers that have been rebuilt based on historical drawings and records. Some are reconstructed using traditional wooden methods, while others focus on recreating the exterior appearance.</p>	<p>●外罫線： 灰色系 2.25pt 実線</p>
<p>塗りつぶし：白 フォント： Calibri、黒、9pt 段落： 箇条書き、行間 11pt 配置： 中央揃え（左）</p>	<p>Rebuilt castle towers Osaka Castle, Odawara Castle, among others</p>	<p>Rebuilt castle towers are castle towers that have been reconstructed at specific sites, but with designs that differ from their original appearance.</p>	<p>●内罫線 横： 灰色系 1pt 実線</p>
	<p>Replica castle towers Toyama Castle, Iga Ueno Castle, among others</p>	<p>Replica castle towers are modern constructions built in places where there is no historical evidence that a castle tower (tenshu) ever existed. These are not based on historical records but are often created for cultural or touristic purposes.</p>	<p>●内罫線 縦： 灰色系 1pt 破線</p>

27. 「The Three Great Unifiers and Their Castles」は、「16.」「17.」と同様の設定を行う。

28. 「27.」で作成した見出し内の「Unifiers」に、脚注「Nagoya City's annual "Nagoya Festival" features a parade honoring Oda Nobunaga, Toyotomi Hideyoshi, and Tokugawa Ieyasu.」を挿入する。

■脚注のフォント：Calibri、サイズ：8

29. 箇条書き「Oda～」「Toyotomi～」「Tokugawa～」は、以下の通り設定する。

■行頭文字：◆、色：紫系、左インデント：2字

■タブ設定：18字の位置に、左揃え リーダー (3) を設定し、該当箇所にタブを挿入する

30. SmartArt「タイトル付き画像ブロック」を挿入し、作成例の通り設定する。

■フォント：(タイトル) Gill Sans MT、サイズ：11

(説明文) Calibri、サイズ：10

■挿入画像：「ワード・プロセッサ￥英文素材」フォルダ内の
「Oda.jpg」「Toyotomi.jpg」「Tokugawa.jpg」

◆文書全体の調整

31. 指示されていない部分についても、作成例と同様になるように編集し、上書き保存する。

32. 完成した文書を PDF 形式で保存する。

■ファイル名：「選手番号 JapaneseCastles」